環境保全型農業直接支払交付金に係る地域慣行レベル一覧

※化学合成農薬の成分回数は特別栽培農産物表示ガイドラインにおける節減対象農薬の成分回数

No.	品目名	化学合成農薬ののベ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	(備考
1	露地もも(ネクタリンを含 む)	31	14	せん孔細菌病発生地域の化学合成農薬ののベ 成分回数は、33回
2	露地すもも	21	14	黒斑病発生地域の化学合成農薬ののベ成分回数は、23回
3	雨よけおうとう	24	10	
4	露地りんご	33	18	
5	露地かき	16	12	
6	露地うめ	7	13	
7	露地ぶどう (デラウエア)	19	13	
8	露地ぶどう【巨峰・ピオーネ、巨峰 系品種群、シャインマスカット他(種な し栽培)】	33	8	
9	露地ぶどう【巨峰・ピオーネ、巨峰 系品種群(オリンピア、安芸クイーン 他)(種あり栽培)】	30	6	
10	露地ぶどう【甲斐路系、欧州 系品種】	30	12	
11	露地ぶどう【甲州種、醸造用甲州種、醸造用専用種(メルロー、カベルネ他)、マスカット・ベリーA】	18	12	
12	なし	36	22	
13	キウイフルーツ	14	15	
14	ブルーベリー	10	8	
15	あんず	12	13	平成30年3月追加
16	ベリー類	5	8	平成30年3月追加
17	水稲平坦地	14	10	
18	水稲中間地・高冷地	18	8	中間地・高冷地は標高400m以上の地域
19	小麦	6	12	
20	大豆	13	4. 4	
21	施設抑制トマト	*1 38 (32)	* 2 19	標準:8月中旬定植 収穫期間10月上旬~11月末(60日) 収量8 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は6日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.3kg又は収量1t につき2.4kg増減
22	施設半促成トマト	41 (35) ^{** 1}	*2 27	標準:1月中下旬定植 収穫期間4月上旬~6月末(90日) 収量10 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.3kg又は収量1t につき2.7kg増減

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
23	夏秋トマト	*1 49 (43)	* 2 45	標準:5月下旬定植 収穫期間7月下旬~10月末(100日) 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は4日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき2.2kg又は収量1t につき5.6kg増減
24	施設促成トマト	*1 69 (63)	** 2 49	標準:8月中旬定植 収穫期間11月中旬~6月末 (220日) 収量18 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.45kg又は収量 1tにつき2.7kg増減
25	中玉トマト(雨よけ、夏秋ど り)	* 1 46 (40)	* 2 42	標準:4月下旬定植 収穫期間6月下旬~10月末(130日) 収量9 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は4日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.08kg又は収量 1tにつき4.7kg増減
26	ミニトマト (雨よけ、夏秋ど り)	* 1 46 (40)	* 2 42	標準:4月下旬定植 収穫期間6月下旬~10月末 (130日) 収量4 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.08kg又は収量 1tにつき10.5kg増減
27	施設抑制きゅうり	* 1 43 (37)	* 2 27	標準:8月上旬定植 収穫期間9月中旬~11月末 (80日) 収量6 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は5日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.5kg又は収量1t につき4.5kg増減
28	施設半促成きゅうり	*1 50 (44)	* 2 44	標準:8月上旬定植 収穫期間9月中旬~11月末(80日) 収量6 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は5日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.5kg又は収量1t につき4.5kg増減
29	夏秋きゅうり	* 1 33	* 2 35	標準:5月播種又は6月定植 収穫期間7月中旬~10月末(120日) 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は7日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき2.5kg又は収量1t につき4.4kg増減
30	施設促成きゅうり	** 1 62 (56)	* 2 44	標準:10月上旬定植 収穫期間11月下旬~3月下旬 (130日) 収量10 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき1.85kg又は収量 1tにつき4.4kg増減

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
31	夏秋なす	** 1 45	* 2 50	標準:4月中下旬定植 収穫期間5月下旬~10月末(160日) 収量10 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき2.2kg又は収量1t につき5.5kg増減
32 3	抑制なす	** 1 42	* 2 40	標準:6月下旬定植 収穫期間7月中旬~11月上旬(120日) 収量8 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は10日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき5.0kg又は収量1t につき5.5kg増減
33	さやいんげん	*1 11	** 2 19. 5	標準:6月下旬定植 収穫期間8月上旬~10月上旬(70日) 収量2 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は25日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき0.64kg又は収量 1tにつき9.75kg増減
34	さやえんどう	% 1 9	*2 18	標準:6月上旬定植 収穫期間7月下旬~10月下旬(100日) 収量2 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は20日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき0.6kg又は収量1t につき11.0kg増減
35	スイートコーン (トンネル)	10	40	
36	スイートコーン(露地)	8	40	
37	レタス (露地)	8	20	
38	カリフラワー (春まき)	7	32	
39	カリフラワー (夏まき)	10	32	
40	ブロッコリー (春まき)	8	28	
41	ブロッコリー (夏まき)	12	28	
42	はくさい	12	22	
43	ほうれんそう (雨よけ)	7	20	
44	たまねぎ	7	24	
45	だいこん	8	15	
46	ながいも	7	35	
47	かぼちゃ	10	18	
48	ズッキーニ (露地)	12	18	
49	にがうり	10	30	
50	いちご(促成)	* 1 42	* 2 40	標準:9月中下旬定植 収穫期間12月上旬~4月下旬(150日) 収量3.5 t /10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は15日につき1成分増減 ※2 収量増加に伴う化学肥料由来窒素成分量 は、収量1tにつき11.4kg増減
51	ほうれんそう(秋冬どり)	6	18	

No.	品目名	化学合成農薬の のべ成分回数	化学肥料由来の 窒素成分量 (kg/10a)	備考
52	なばな (秋冬まき)	10	25	
53	サントウサイ(秋冬まき)	6	18	
54	しゅんぎく (秋冬まき)	6	14.8	
55	ちんげんさい (秋冬まき)	7	11. 2	
56	こまつな (秋冬まき)	6	14	
57	つけな(野沢菜、鳴沢菜な ど)	10	29	
58	茎ブロッコリー (夏まき)	9	26. 8	
59	茎ブロッコリー (春まき)	11	26. 8	
60	非結球メキャベツ	11	26. 8	
61	アスパラガス	24	32	
62	キャベツ	26	25	
63	ばれいしょ	6	16.8	
64	さといも	10	37. 4	
65	にんにく	12	24	
66	クレソン	*1 3	*2 18.8	標準:5月上旬定植 収穫期間7月下旬~11月下旬(150日) 収量3 t/10a ※1 収穫期間の長短に伴う化学合成農薬ののベ 成分回数は30日につき1成分増減 ※2 収穫期間の長短又は収量増加に伴う化学肥 料由来窒素成分量は、10日につき0.3kg又は収量1t につき6.3kg増減
67	ピーマン (夏秋どり)	12	32	
68	おくら (夏秋どり)	11	32	
69	とうがらし類(夏秋どり)	10	32	
70	レタス(非結球含む、夏秋ど り)	10	15	
71	長ねぎ (秋冬どり)	11	23	
72	みずな (秋どり)	6	15	
73	にんじん (秋冬どり)	5	16	
74	かぶ (小かぶ、春どり)	4	15	
75	かぶ (小かぶ、秋どり)	6	15	
76	さつまいも	7	5	
77	スイートコーン (ハウス)	6	33	
78	べにばないんげん	6	12	
79	茶	14	69. 4	

注) 育苗期又は購入種苗に使用されている薬剤についてもカウントの対象とする。 ただし、購入苗を使用した場合には、本圃での使用回数として()書き内の数値を用いるものとする。